

舞浜アンフィシアターの避難・誘導について

ご利用にあたっては、非常時の避難・誘導を担う主催者隊を構築してください。  
 主催者隊は指揮者1名、避難誘導員6名で構成し、非常の際は舞浜アンフィシアター自衛消防隊の指示に従って観客の避難誘導に当たってください。避難場所は、当シアター前の円形花壇広場となります。

《火災時の避難誘導フロー》

<b>【非常放送】</b> 「ただいま火災感知器が作動しました。係員が確認していますので、そのままお待ちください。」	
催事責任者	避難誘導係員に持ち場（右下図参照）に付くよう指示する。
避難誘導員 ①～⑥	持ち場にて、「ただいまの放送について係員が確認していますので、そのままお席でお待ちください。」の案内を2回繰り返す。
<b>【非常放送】</b> 「火事です。ただいま●●で火災が発生しました。係員の指示に従って落ち着いて避難してください。」	
避難誘導員 ①～⑥	エントランスおよび各ゲートの扉を開放し、大きな声でゲストを避難誘導する。 「こちらが非常口です。落ち着いてゆっくり避難してください。」
避難誘導員 ③～⑥	客席内からすべてのゲストが避難したことを確認後、ゲートの扉を閉めてロビーへ避難する。ロビーへ出たらトイレやロッカールームに逃げ遅れがないかを確認する。
避難誘導係 ① ②	ロビーからゲストが避難したことを確認後、催事責任者に報告。 エントランスの扉を閉めてゲート担当者を含む避難誘導係全員で避難する。

《地震時の避難誘導フロー》

緊急地震速報（震度5弱以上）の発報、または当シアター自衛消防隊の指示があった場合は、ただちにショーを中断する。	
避難誘導係 ①～⑥	ショーの中断と同時に、客席内でゲストに防護姿勢を取るよう呼び掛ける。 「できるだけ低い位置になり、頭を守ってください。揺れが収まるまで席を立たないでください。」
揺れが収まったら、避難誘導係はゲストを屋外へ避難誘導する。避難誘導の方法は火災時と同じ。	

《避難誘導灯の消灯》

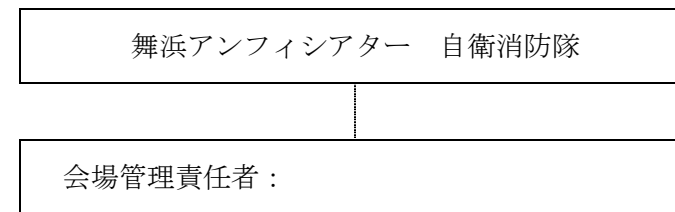
催事運営上やむなく避難誘導灯を消灯する場合は、その理由と日時を下記に記入してください。

消灯日時	年 月 日 : ~ :
消灯理由	

会場管理計画

催事名称	
催事期間	
会場管理会社	
会場管理責任者	

《主催者隊の構成》



①エントランス 担当者 :	②再入場口担当者 :
③ゲート1 担当者 :	④ゲート2 担当者 :
⑤ゲート3 担当者 :	⑥ゲート4 担当者 :

《避難誘導経路図》

